



【高校男子・決勝】緩急を付けたプレーで相手を揺さぶりリードする前川雅哉（江陵）

前川、三室 制す

高校の部

全十勝 春季卓球 一般女子は小林（音更）

卓球の全十勝春季大会高校・一般（十勝卓球協会、高体連十勝支部共催）が4月29日、帯広市総合体育館で行われた。個人戦シングルスで競い、高校男子は前川雅哉（江陵3年）、同女子は三室汐織（帯大谷1年）が優勝。一般男子Aは植松伸晃（牧野電気）、同Bは今俊明（芽室卓球協会）、リーグ戦で争った一般女子は小林唯那（スマイルクラ

ブ、音更小6年）が4戦全勝でそれぞれ制した。（藤島諒司）

サーブに緩急 積極的に攻める

江陵・前川

○1月の学年別大会に続いて男子シングルスを抑えた前川雅哉は「この勢いで夏の（全十勝）高体連シングルスも優勝を」と力を込めた。

サウスポーの前川はストレートのコースで勝負を続けた。「このコースは」苦手とする人が多く、自分の有利な点。サーブでも積極的に攻めた。主にショートを使いながら勝負どころではロングを織り交ぜ、緩急を付けたサーブで相手を翻弄（ほんろう）し勝利につなげた。

高体連や国体を見据え「相手が短いサーブを出す

ときは、（勝負を決められる）3球目を打たせないよう力をつけたい。受け身でなく自分のプレーを」と、練習に熱を入れる。

サーブがさえ、ラリーで粘って相手のミス誘えたりが、得意のスピードあるドライブは有効打とならず、レシーブやブロックでも苦戦する場面もあった。



【高校女子・決勝】高校でのデビュー戦を優勝で飾った三室汐織（帯大谷）

一般男子A優勝・植松伸晃の話 フットワークが不調だったが、決勝の相手は互いによく知る同士で、少しずつ追いやり攻める作戦がうまくいった。今季の社会人大会では、昨年の16強以上の8強入りで全国進出を目指したい。

復帰戦自信ついた 一般男子B優勝・今俊明の話 1年前に右肩腱（けん）板を断裂して手術してから初めての大会で、優勝できて今後の試合に自信がついた。さらにきょうは初孫が生まれる予定。とてもうれしく、忘れられない日になる。

諦めずに返せた 一般女子優勝・小林唯那の話 相手のラリーで振られたが、諦めず粘って返せた。得意のバックドライブもうまくいった。

一般男子優勝・植松伸晃の話 フットワークが不調だったが、決勝の相手は互いによく知る同士で、少しずつ追いやり攻める作戦がうまくいった。今季の社会人大会では、昨年の16強以上の8強入りで全国進出を目指したい。

復帰戦自信ついた 一般男子B優勝・今俊明の話 1年前に右肩腱（けん）板を断裂して手術してから初めての大会で、優勝できて今後の試合に自信がついた。さらにきょうは初孫が生まれる予定。とてもうれしく、忘れられない日になる。

諦めずに返せた 一般女子優勝・小林唯那の話 相手のラリーで振られたが、諦めず粘って返せた。得意のバックドライブもうまくいった。



高校男子の入賞者。三室汐織、田中愛弓、佐々木晴可、鎌田雪菜（前列左から）、前川雅哉、松田知也、高嶋智大、前川七海（後列同）

かちまいスポーツ

記録の速報は▼kachimai.mobi Eメール▼sports@kachimai.co.jp
写真がほしい▼0120-255-9410 ファクス▼0155-255-2700